



バックエンド部会

2021年度部会表彰

2021年度バックエンド部会賞 受賞要件



功績賞

バックエンド分野において幅広くかつ顕著な貢献のあった個人、毎年1名以内

業績賞

バックエンド分野において顕著な学術または技術上の業績のあった個人またはグループ、毎年2名以内もしくは1グループ以内

奨励賞

バックエンド分野において顕著な学術または技術上の業績のあった概ね40才までの個人、毎年3名以内

本年度は奨励賞の該当者は該当なし

功績賞



受賞者

新堀 雄一 殿（東北大学大学院）

選考理由：

候補者は、バックエンド分野において、幅広く深い研究活動を行い、200件を超える原著論文等を発表するなど、多くの成果を挙げてきた。特に、地下環境における物質の移動や化学反応を明らかにした現象論の研究成果、さらに現象理解を基盤とした処分安全評価研究の成果は関連分野の道標となっている。また、放射性廃棄物処分の現状解説や課題提起の著作を多数手がけ、人材育成活動にも取り組み、指導的役割を果たしてきた。長年にわたり我が国のバックエンド分野の発展に大きく貢献してきたことは明白である。

学会においては、バックエンド部会長・運営委員、標準委員会原子燃料サイクル専門部会長、日本原子力学会東北支部長、日本原子力学会副会長・理事等を歴任し、バックエンド分野はもちろん、学会のアクティビティへの貢献は顕著である。

近年は、福島第一原子力発電所事故後の除染で発生した除去土壌等の処分に関する検討チームの委員を務めるなど、バックエンド分野の第一人者として、幅広い貢献がある。

以上、候補者のバックエンド分野における功績は著しく、功績賞に値するものと思料する。今後も引き続き、バックエンド分野における指導的役割を強く期待することを付記したい。

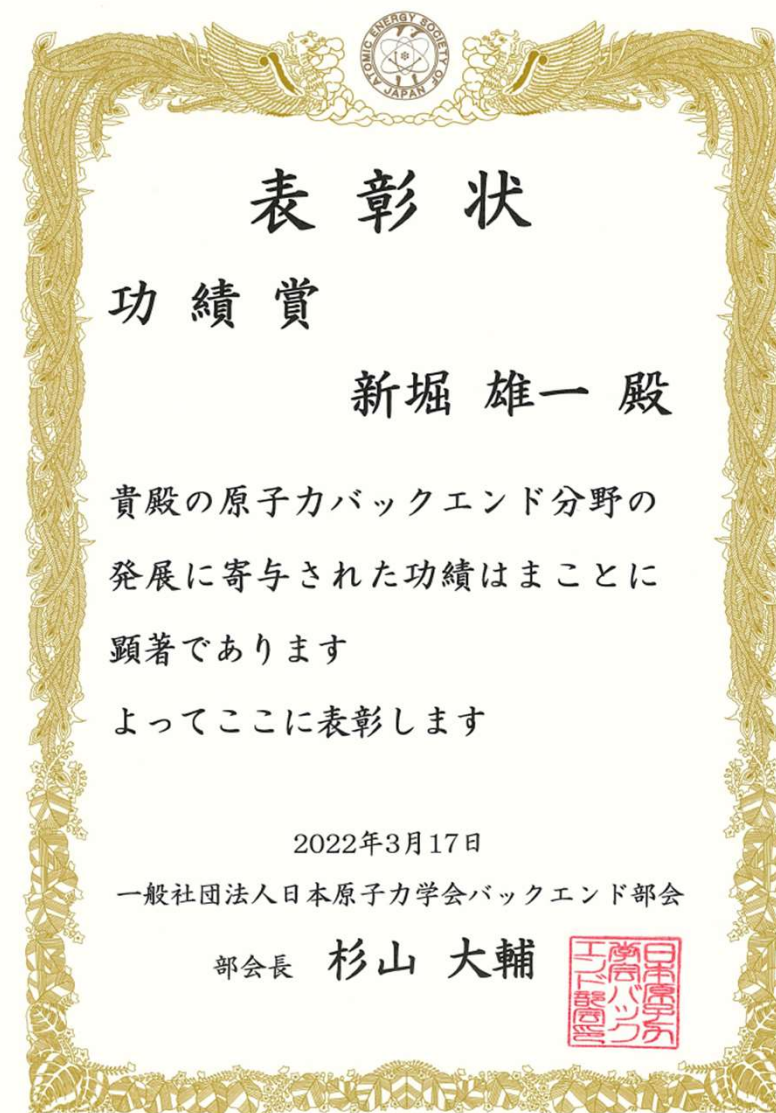
功績賞



受賞者

新堀 雄一 殿

(東北大学大学院)



受賞者からひとこと



功績賞を受賞して 新堀 雄一 様



この度は、本分野において最も栄誉ある賞の一つである日本原子力学会バックエンド部会功績賞 を賜り、心より御礼を申し上げます。これまで長きに亘り多くの皆様からご支援を頂戴しており、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今後もこの賞を励みにバックエンド分野の人材の育成および発展に非力ながら尽力して参ります。バックエンド部会の皆様の更なるご活躍を祈念申し上げます。ありがとうございました。

業績賞



受賞者

オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発～

タスクフォース 殿

(坪谷隆夫氏、増田純男氏、梅木博之氏、河村秀紀氏、藤原啓司氏、間野正氏)

選考理由:

「オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発～」は、わが国における地層処分研究開発の歴史の一断面を複数の関係者の口述をもとに遺す試みである。一大研究開発史と言える。

わが国における地層処分はこれから長い年月を刻んで歴史が遺されるものと考えられるが、本書は、当時どのような考えで、どのようにして報告書がとりまとめられたのか、その背景を当事者自らの言葉で証言してもらったものである。その過程は、放射性廃棄物処分システムの性能評価研究の黎明期の状況を含む多くを学ばなければならない者にとって、数多の示唆を含んでいる。

なお、本書は、原環センター創立40周年記念事業として取りまとめた「オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発を語る～」(2016年9月、関係者のみに配布)を一部改訂のうえ、編者坪谷氏が著作権の譲渡を受け「オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発～」として自費出版(2020年10月、印刷・製本)したものである。日本原子力学会シニアネットワーク連絡会HPから無償でダウンロードが可能である。

以上から、業績賞授与が相応しいと考えるものである。

業績賞



受賞者

オーラル・ヒストリー ～地層処分研究開発～ タスクフォース 殿

坪谷隆夫氏、増田純男氏、
梅木博之氏、河村秀紀氏、
藤原啓司氏、間野正氏



表彰状

業績賞

オーラル・ヒストリー
～地層処分研究開発～
タスクフォース 殿

貴殿の原子力バックエンド分野の
発展に寄与された業績はまことに
顕著であります

よってここに表彰します

2022年3月17日

一般社団法人日本原子力学会バックエンド部会

部会長 杉山 大輔



受賞者からひとこと



業績賞を受賞して オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発～
タスクフォース 様 代表として 坪谷隆夫様より



このたびは図らずも「オーラル・ヒストリー～地層処分研究開発～」タスクフォースがバックエンド部会業績賞の栄に浴し、誠に光栄で御座います。著作には多くの方々の参加を頂きました。増田純男さん、梅木博之さん、河村秀紀さん、藤原啓司さん、間野正さんは、私とともにタスクフォースを組んで構想をまとめるところから参画を頂きました。ここにお名前を記してともに喜びたいと存じます。本著が、わが国の地層処分技術の発展にお役に立つことを願っております。

2021年度バックエンド部会賞 受賞要件



優秀講演賞

バックエンド分野に関する，日本原子力学会またはバックエンド部会が主催・共催する行事において優れた口頭発表をおこなった個人を対象。各行事で原則1件以内。また，学生優秀講演賞を別途設置する場合には，各行事でさらに1件を追加。

ポスター賞

バックエンド分野に関する，日本原子力学会またはバックエンド部会が主催・共催する行事において優れたポスター発表をおこなった個人を対象。各行事で原則1件以内*。

* バックエンド夏期セミナーで2名が同点1位であったため、審議の結果、両者を表彰。

優秀講演賞



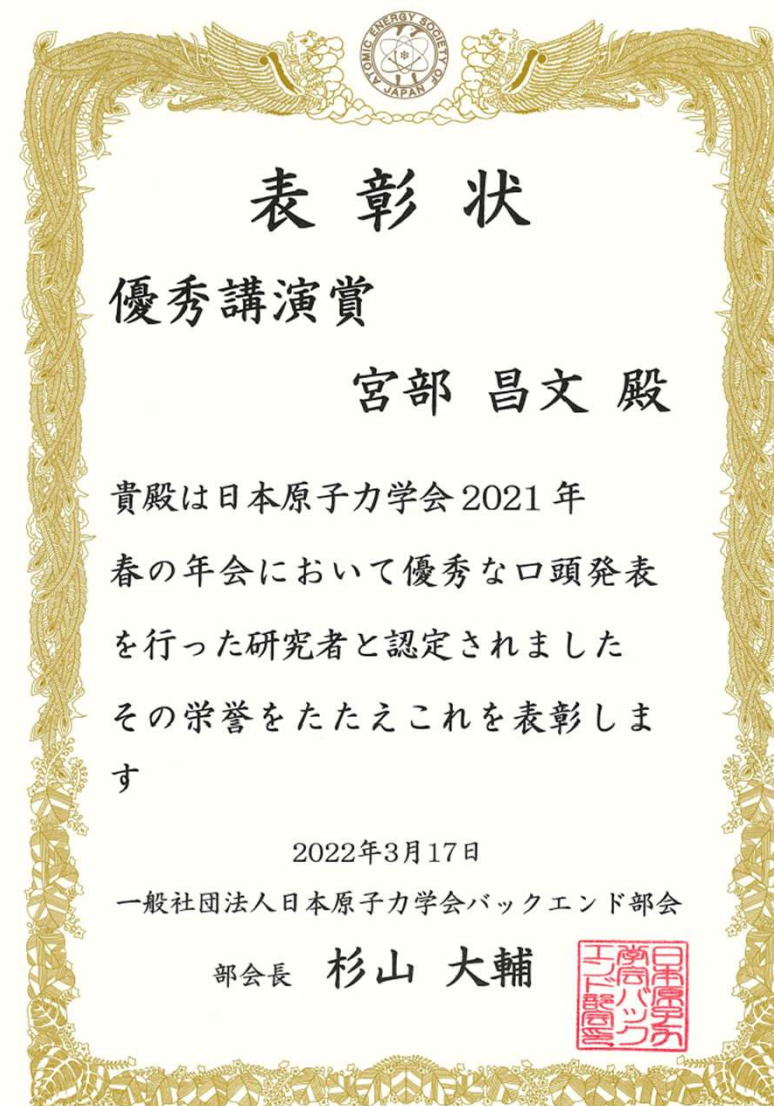
2021年春の年会
受賞者

宮部 昌文 殿

(日本原子力研究開発機構)

選考理由:

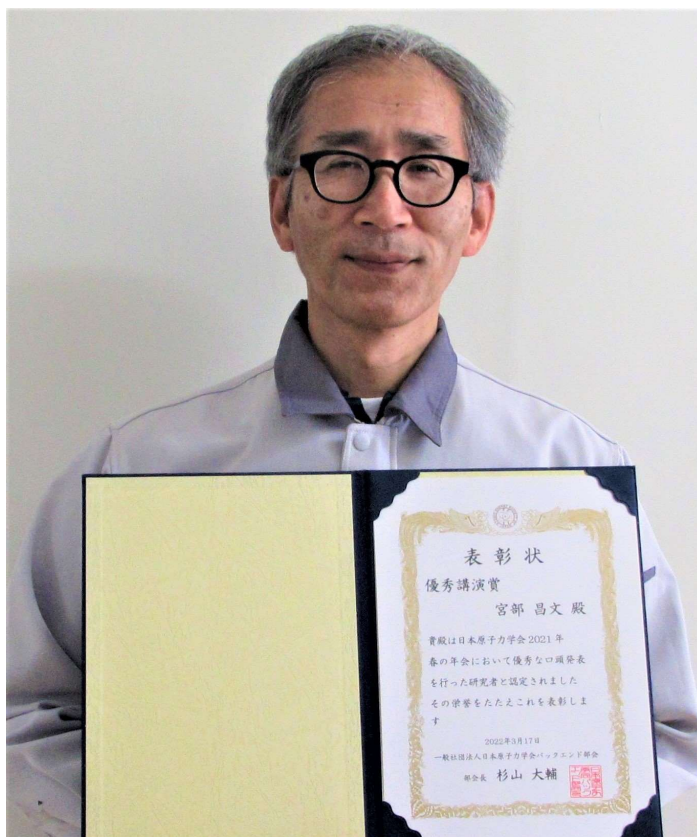
2021年春の年会の口頭発表2J13「レーザー加工により発生する微粒子の解析と核種同定手法の開発(4)_(2)高分解能遠隔核種分析法の開発」について、「“優秀講演賞”の評価基準」に基づく採点の評価結果による。



受賞者からひとこと



2021年春の年会 優秀講演賞を受賞して 宮部 昌文 様



この度は優秀講演賞をいただき大変光栄に存じます。

今後ともこの賞に恥じないよう、研究を進めて参りたいと思います。

学生優秀講演賞



2021年春の年会
受賞者

米山 海 殿

(東京都市大学大学院)

選考理由:

2021年春の年会の口頭発表1104「中性子放射化分析によるコンクリートへのCs浸透挙動の検討」について、「“学生優秀講演賞”の評価基準」に基づく採点の評価結果による。



受賞者からひとこと



2021年春の年会

学生優秀講演賞を受賞して **米山 海 様**



この度は学生でありながら優秀講演賞をいただき、大変光栄と存じます。テーマとしては大学時代より取り組んできたコンクリートの浸透挙動に関する研究の中で、指導教授をはじめとする多数の方々からご協力を頂き進めることが出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

また、このような研究が皆様に評価されることになり、大変やりがいを感じております。これより就職し、廃止措置の現場に携わることになるので、これを励みの一つとして真摯に取り組んで行きたいと思えます。選考に携われたバックエンド部会の皆様に深く感謝申し上げますと共に、バックエンド部会と皆様の更なるご活躍を祈念致します。

優秀講演賞



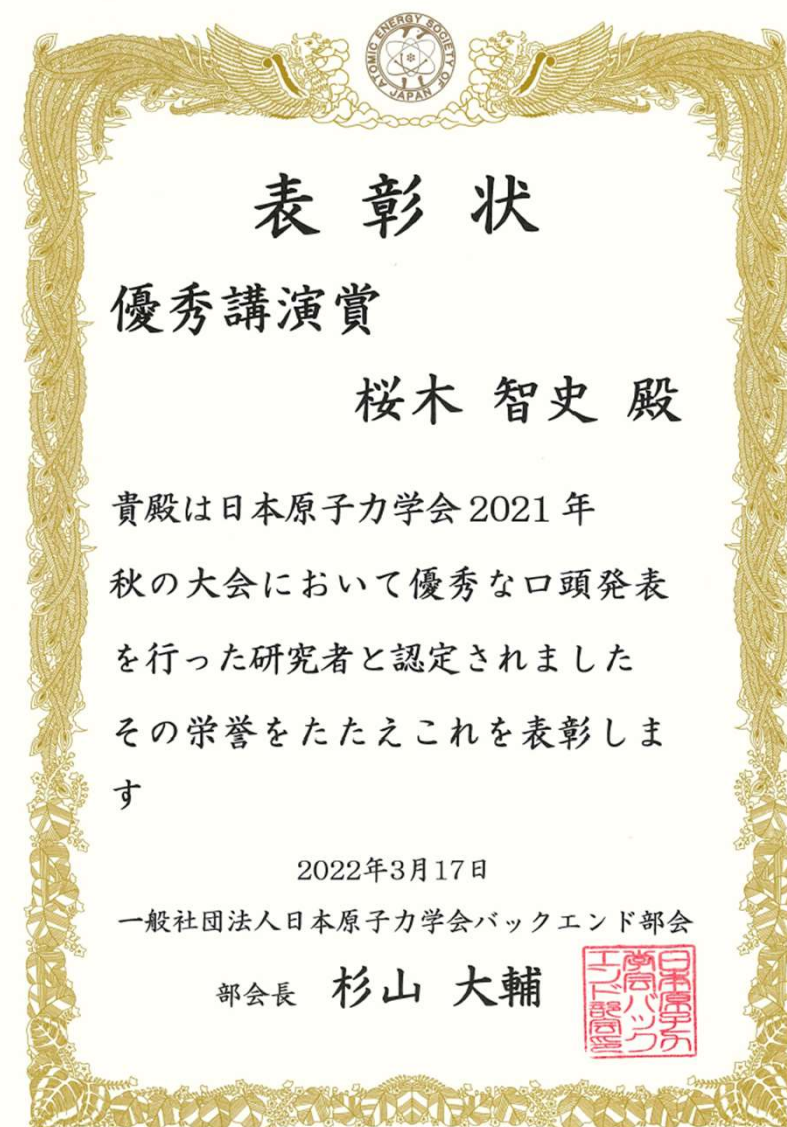
2021年秋の大会
受賞者

桜木 智史 殿

(原環センター)

選考理由:

2021年秋の大会の口頭発表3B09「使用済みMOX燃料由来のガラス固化体のMA分離による発熱低減と高含有化による処分場面積の合理化検討」について、「“優秀講演賞”の評価基準」に基づく採点の評価結果による。



受賞者からひとこと



2021年秋の大会 優秀講演賞を受賞して **桜木 智史 様**



この度は優秀講演賞を頂き大変光栄に存じます。

ガラス基盤研究の一部として、地層処分の視点からガラス固化体の高充填化やマイナーアクチニド（**MA**）分離の影響・効果を評価しております。この場をお借りして、関係者の皆様へ感謝申し上げます。

今後益々、廃棄物の有害度低減・減容に向けた取組として、核燃料サイクル全体を俯瞰した評価や分野間の連携が重要になってくると思います。引き続き、再処理や**MA**分離、ガラス固化技術の開発等、ガラス基盤研究の関係者からの助言を頂きながら研究を進めて参ります。

バックエンド部会員の皆様からのご指導・ご鞭撻、何卒よろしくお願い申し上げます。

学生優秀講演賞



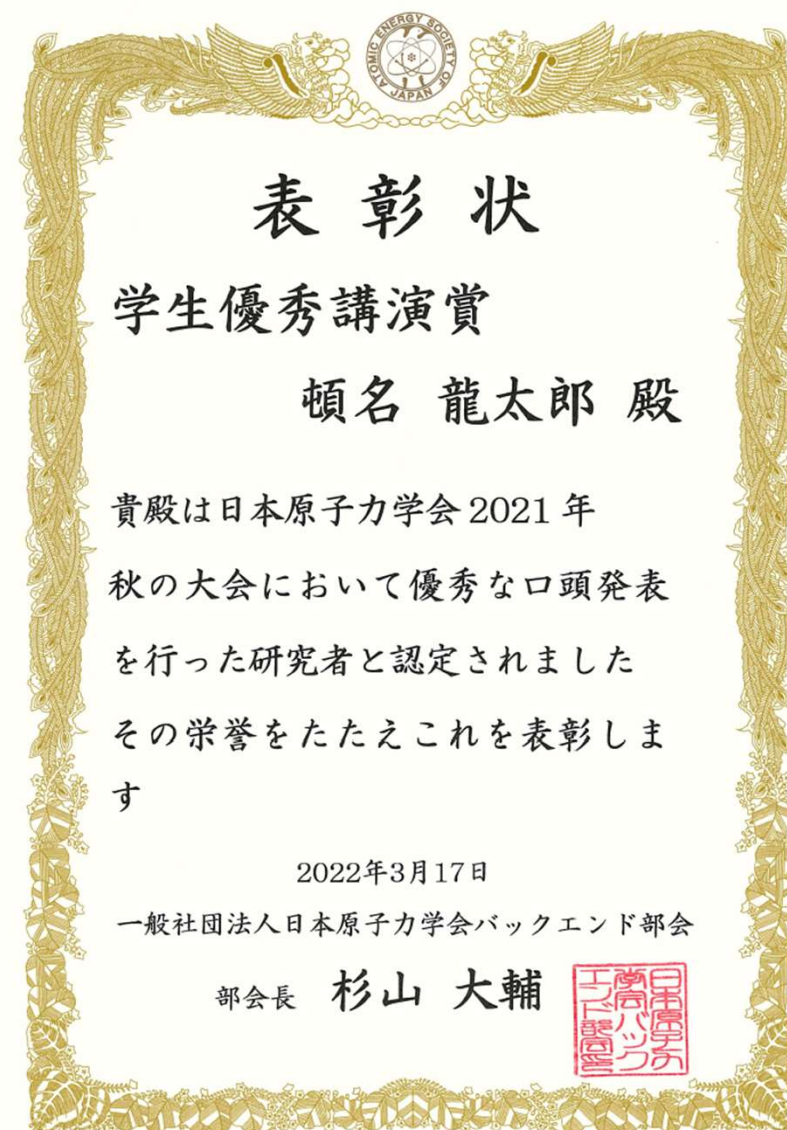
2021年秋の大会
受賞者

頓名 龍太郎 殿

(京都大学大学院)

選考理由:

2021年秋の大会の口頭発表1C01「5価ウラン—鉄酸化物の溶解メカニズムに関する考察」について、「“学生優秀講演賞”の評価基準」に基づく採点の評価結果による。



受賞者からひとこと



2021年秋の大会

学生優秀講演賞を受賞して **頓名 龍太郎 様**



この度は、バックエンド部会様より学生優秀講演賞をいただきましたこと、大変光栄に存じております。

本研究を進めるにあたりご指導をいただいております佐々木先生をはじめ、バックエンド部会関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

本賞の受賞を励みに、今後も研究により一層精進してまいります。

改めましてこの度はまことにありがとうございます。

ポスター賞



第37回バックエンド夏期セミナー 受賞者

中林 亮 殿（電中研）

選考理由：

第37回「バックエンド」夏期セミナー（2021年8月）ポスターセッションの発表「放射性廃棄物処分におけるベントナイ層の透水係数合理的な品質管手法提案 放射性廃棄物処分におけるベントナイ層の透水係数合理的な品質管手法提案一」についての評価結果による。

受賞者からひとこと



第37回バックエンド夏期セミナー ポスター賞を受賞して 中林 亮 様



この度、バックエンド部会よりポスター賞を頂きまして、大変光栄に存じます。今回の受賞を励みに本研究に引き続き真摯に取り組むとともに、バックエンド分野の発展に貢献できるよう、一層の努力をしてまいりたいと思います。

学生優秀ポスター賞



第37回バックエンド夏期セミナー 受賞者

吉田 智哉 殿（東海大学）

選考理由：

第37回「バックエンド」夏期セミナー（2021年8月）ポスターセッションの発表「銅コーティングオーバーパックの腐食に関する解析的検討」についての評価結果による。

受賞者からひとこと



第37回バックエンド夏期セミナー 学生優秀ポスター賞を受賞して 吉田 智哉 様



この度はポスター賞を受賞させて頂きましたこと、大変光栄に存じます。本研究を進めるにあたって、ご指導頂きました東海大学の若杉圭一郎教授を始めとする、多くの関係者の方々に心より御礼申し上げます。今回の受賞を励みにバックエンド分野の発展に貢献できるよう、より一層精進していく所存です。

2021年度バックエンド部会賞 受賞要件



論文賞

部会誌「原子力バックエンド研究」に掲載された過去3年間の論文を対象。毎年1編以内。ただし、主著者が同一であり、複数の論文が一連となっている場合は、1編とみなすことができる。

功労賞

バックエンド部会の発展に顕著な功労のあった個人を対象。平成27年度新設。毎年2名以内。

本年度は功労賞の該当者はナシ。

論文賞



受賞者

高山 裕介 殿（日本原子力研究開発機構）

菊池 広人 殿（日本原子力研究開発機構）

選考理由：

部会誌「原子力バックエンド研究」Vol.27-1(2020.6)に掲載の論文「塩水条件での緩衝材の力学挙動に対する弾塑性構成モデルの適用性に関する研究」について、「“論文賞”の評価基準」に基づく採点の評価結果による。

論文賞



受賞者

高山 裕介 殿
(日本原子力研究開発機構)

菊池 広人 殿
(日本原子力研究開発機構)

表彰状

論文賞

高山 裕介 殿
菊池 広人 殿

部会誌「原子力バックエンド研究」
Vol.27-1 に掲載の論文「塩水条件での緩
衝材の力学挙動に対する弾塑性構成モデ
ルの適用性に関する研究」は2021年度に
おける論文賞に選考されました
その栄誉をたたえこれを表彰します

2022年3月17日

一般社団法人日本原子力学会バックエンド部会

部会長 杉山 大輔



受賞者からひとこと



論文賞を受賞して 高山 裕介 様 共著者 菊池 広人 様を代表して



このたびは私共の研究論文「塩水条件での緩衝材の力学挙動に対する弾塑性構成モデルの適用性に関する研究」を論文賞に選定いただき、誠にありがとうございます。このような栄誉ある賞を頂き、著者一同、大変光栄に感じております。

本論文の作成にあたり貴重なご意見をいただいた査読者のみなさま、編集委員のみなさまをはじめ、本論文に携わっていただいた方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

本受賞を励みに今後もより一層研究活動に邁進し、バックエンド分野の発展に貢献していきたいと思っております。



Fin.